

日中演劇交流の諸相

陳 凌虹 著

中国近代演劇の成立

▶ A 5 判・418頁／定価：本体 8,000円 (税別)
ISBN978-4-7842-1722-9

2014年9月刊行予定

日本の明治期、中国の清末民国初期における日中演劇界の緊密な連携関係、とりわけ中国の近代演劇の成立に果たした日本の役割について、両国話劇のはしりである文明戯（中国）と新派（日本）の関係を中心に、多数の新史料と具体的な事象（人物の往来、脚本の翻訳、舞台芸術）を通して総合的に論じる。



◎内容目次◎

序 章

本書の課題／これまでの研究／研究の目的と方法／本書の構成

第一章 日中近代演劇の展開

近代化と演劇改良／新演劇の誕生／新演劇の担い手と享受者

第二章 新演劇のネットワーク（一）

——政治・戦争と演劇の蜜月

新演劇と自由民権運動、日清戦争／文明戯と維新变法、辛亥革命／文明戯と京都——任天知進化団と静間小次郎一派の明治座興行

第三章 新演劇のネットワーク（二）

——日中に咲くメロドラマの花

日中に咲くメロドラマの花／「椿姫」「茶花女」「新茶花」——日中における演劇「椿姫」の上演とその意味／「不如帰」と「家庭恩怨記」——そのメロドラマ的性格をめぐって

第四章 舞台芸術としての新派と文明戯

役者研究——「女形」と「男旦」／劇場研究——近代新式劇場の登場／新演劇の統合機関——東京新派俳優組合、新劇倶進会

第五章 文明戯と日本の新劇運動

——春柳社と民衆戯劇社を中心に

春柳社と新劇／民衆戯劇社の自由劇場運動と日本

終 章

本書の内容と意義／新派と文明戯の位置／今後の課題

あとがき

参考文献／図版目録／略年表／索引

ちん・りょうこう CHEN Linghong

1979年中国雲南省昆明市生まれ。北京日本学研究中心修士課程卒業後、総合研究大学院大学文化科学研究科博士課程修了、学術博士。専門は日中近代演劇交流史、比較文学比較文化。現在、華東師範大学専任講師。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注 文 票		発 行：思 文 閣 出 版		(京都 取引コード 3402)			
冊 数	冊	日中演劇交流の諸相		本体8,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1722-9		
お 名 前			tel				
			e-mail				
ご 住 所	〒						
送本方法	☐ 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） ☐ 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）						

本書HPのQRコード

書店番線印

劇場の近代化

帝国劇場・築地小劇場・東京宝塚劇場

永井聡子著

明治・大正・昭和初期における劇場の近代化に大きな影響を与えた3つの劇場、帝国劇場（明治44年開場）・築地小劇場（大正13年開場）・東京宝塚劇場（昭和9年開場）を取り上げ、当時のさまざまな言説、図版、写真、インタビューなどの資料を読み解き、西洋の劇場近代化過程とも比較しながら日本の劇場の近代化の特色を描きだす。



ISBN978-4-7842-1737-3

▶A5判・230頁／本体3,500円

比較詩学と文化の翻訳

大手前大学比較文化研究叢書8

川本皓嗣・上垣外憲一編

国際比較文学会（ICLA）会長であった故アール・マイナー氏の追悼と、同じくICLA会長を務めた川本皓嗣大手前大学前学長の退職を祝うため、各国から集った研究者の共同論集。詩歌の翻訳から民謡、仏教、獅子舞、ペルシャの涙壺まで、比較文化と翻訳にまつわる事象を様々に論じる。



ISBN978-4-7842-1637-6

▶A5判・286頁／本体2,500円

※一九二〇年代東アジアの文化交流

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書6

1920年代日本はいわゆる大正デモクラシーの時代であり、経済の好景気と比較的安定した国際関係によって、海外との交流が新たな展開を見せた時代であった。西洋という価値は相対的なものとなり、東洋回帰も日本の芸術家たちにとって、もう一つの選択肢となってくる。日本の伝統文化に対する西洋人・東洋人のまなざしも、幕末明治期の異国趣味とは一線を画するようになる。中国・朝鮮からの留学生も実り多い文化活動を繰り広げた。明治期の交流にくらべて研究の事例も少なく、未開拓の部分も多い1920年代の東アジア文化交流の様相を、当該各国の研究者を結集することによって、明らかにする。

▶A5判・232頁／本体2,800円

ISBN978-4-7842-1508-9

一九二〇年代東アジアの文化交流Ⅱ

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書7

未開拓部分が多い1920年代の東アジアの文化交流。当該各国の研究者を結集してその様相を解明する第2弾。

【内容】一九二〇年代の東アジア文化交流と間テクスト性格（カレン・ローラ・ソーンバー）／孫文の日中経済同盟論とその周辺—瀧川辨三・儀作の実業思想に関連して（竹村民郎）／一九二〇年代中国におけるシェイクスピア（程朝翔）／辻暉花の中国劇研究（周閑）／小さな詩—周作人の日本詩歌論について（劉岸偉）／萩原朔太郎と韓国—「青猫」の響きと官能表現の変容を中心に（梁東国）／自伝か、小説か、詩か—金子光晴・森三千代が描いた一九二〇年代の上海（趙怡）／「もの」と云ふもの—一九一〇年代後半及び二〇年代前半の谷崎潤一郎の名詞表現をめぐって—考案（岩谷幹子）／郭沫若の『女神』を再読する（殷安生）

▶A5判・274頁／本体2,500円

ISBN978-4-7842-1584-3

中国語圏における厨川白村現象

工藤眞正著

隆盛・衰退・回帰と継続

厨川白村(1880-1923)の著作が日本でどのような評価を受け、大陸・中国の民国文壇の知識人にどのように受容されたのか、また、翻訳された厨川文体の特徴とは如何なるものだったのかを基本的資料を示しながら考察。また、1980年以降に彼の著作が再び熱く受容されている現状に考察を加える。厨川白村を軸とした日中台の文学交流史。

▶A5判・378頁／本体6,000円

ISBN978-4-7842-1495-2

※中国文人画家の近代

西嶺偉著

豊子愷の西洋美術受容と日本

「中国」「日本」「西洋」という三つの視点を設けることにより、中国近代を代表する文人・芸術家である豊子愷(Feng Zi-kai, 1898-1975)が日本を通して西洋美術を受容したことの意味を問うと同時に、「文化の越境者」豊子愷の本質に迫り、20世紀日中知的交流の軌跡を検証する。

▶A5判・384頁／本体5,500円

ISBN4-7842-1230-2

岡倉天心の比較文化史的研究

清水恵美子著

ボストンでの活動と芸術思想

ボストンと日本における岡倉天心像を比較し、固定化され流布されている「岡倉天心」像を再検証。著者がアメリカで行った文献資料調査により、発見した新出資料などを駆使し、同時代の文化的状況、美術、演劇、音楽の動向など複眼的な視座からのアプローチを通して、より立体的な解釈を試みる。

▶A5判・548頁／本体10,700円

ISBN978-4-7842-1605-5

東アジアと『半島空間』 山東半島と遼東半島

千田稔・宇野隆夫編

山東半島と遼東半島については、中世頃までは中国文明の出口であったが、近代にあつては近代文明の侵入口であった。半島は、そこを通過した文明の沈殿層が形成される空間といえる。古代・中世から近代におよぶ通時的・学際的・国際的な議論を通し、東アジア文明論に新視点を与える。

▶A5判・420頁／本体4,800円

ISBN4-7842-1117-9

青島の都市形成史：1897-1945

樂玉蘭著

市場経済の形成と展開

青島がドイツ・日本との間に持った経済関係や、その関係が築かれた歴史的要因、青島の経済発展の過程や特徴、さらに青島が全国へ与えた影響を解明。日中両国の広範な資料を用いることにより、詳細かつ中立的・客観的な立場での考察を試みる。

▶A5判・364頁／本体6,800円

ISBN978-4-7842-1453-2

古井喜実と中国 日中国交正常化への道

鹿雪瑩著

国交正常化に大きな役割を果たしながら、これまで十分な研究がなされてこなかった古井喜実(1903-95)に注目し、未公開資料をふくむ「古井喜実文書」ほか日中の資料を駆使しながら、古井を中心とした自民党内親中派による国交正常化への軌跡、交渉の裏側を総体的に検証。

▶A5判・356頁／本体3,800円

ISBN978-4-7842-1590-4

宮古島狩俣の神歌 その継承と創成

内田順子著

沖縄県宮古島狩俣集落における伝統的祭祀歌謡(神歌)の永年のフィールドワークをもとに、歌われる歌の諸表現が、その都度どのように生み出され、それが演唱者や社会によってどのように意味づけられてゆくのか。歌詞のみによらない新たな歌謡分析の方法を提示した意欲的な一書。

▶A5判・300頁／本体6,600円

ISBN4-7842-1036-9

三匹獅子舞の研究

笹原亮二著

神奈川県北部に伝わり、現在も演じられている三匹獅子舞をどのように理解し、記述することができるかという取り組みとその成果を収録。三匹獅子舞の上演の実態に焦点を定め、どのように上演しているかを、観察とインタビューを主とした現地調査によって得た情報・資料によって解明を試みる。

▶A5判・330頁／本体6,500円

ISBN4-7842-1151-9

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。